



歩いてみませんか？

元気

ステキ

ゆうき

結城の街なかは見所たくさん  
歩いてめぐって、楽しさいっぱい！

7つの  
テーマ

蔵・町家

寺 社

お宝スポット

路 地

体 験

味わい

イベント

結城市街なか観光ガイドブック



# 歩いてめぐる。

# 結城の街なか。

## contents

— 目次 —

結城の街なかには、歴史の趣きや安らぎを感じる蔵や寺社の他にも、ちょっと注意して歩けばいろいろな隠れた見所があらこちらにあります。蔵や寺社をめぐるのもよし、自由気ままにぶらぶら歩いて好きな場所や自分だけの宝物を探すのもよし。訪れるたびに新しい発見や体験ができる結城の街なかを歩いてみませんか？



写真を撮りたくなる街並みがあります。



蔵・町家

▶▶ P.03

ゆっくり寺社めぐりをするならこちら。



寺社

▶▶ P.07

隠れたお宝スポットをご紹介します。



お宝スポット

▶▶ P.11

裏道を歩いてみませんか。



路地

▶▶ P.15

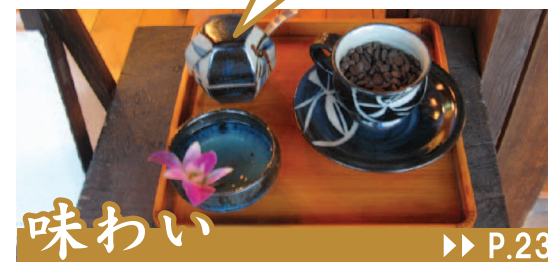
結城紬や染め物の体験ができます。



体験

▶▶ P.19

ほっとひと休み。お土産もどうぞ。



味わい

▶▶ P.23

お祭りやイベントにも来てくださいね。



イベント

▶▶ P.31

わかりづらい道もこれで安心。



MAP

▶▶ P.33

結城のまめ知識、ちょっと役立つ情報。

各ページの下欄には、結城にまつわるコラムや結城の特産をつかったレシピなどのちょっと役立つおまけ情報を載せていますので、参考にご覧ください。



## このガイドブックは？

このガイドブックは、まちづくり交付金事業の一つで、結城市を訪れた来街者が結城市の街なか存在する様々なオススメスポット等をより良く知ってもらい、街なか散策に活かしてもらうことを目的に作成されました。構成は、結城市をより良く知る上で役立つ7つのテーマに分けていますので、興味のあるテーマを参考にしながら、ゆっくり結城の街なかをめぐるみて下さい。右の写真は、結城市の道路元標である「結城一番地」。



## ガイドブックができるまで

このガイドブックは、結城好きの地元住民が集まり、結城市の街なかについて考える「結城市街なか再生市民会議」で構成や掲載する内容など様々に検討されて出来上がりましたので、地元住民のオススメする情報が盛り沢山になっています。これを持って歩けば、結城のまち歩きも2倍楽しくなる(!?)はずです。右の写真は、街なか再生市民会議での検討の様子。





# 今でも残る歴史ある蔵を見る。



# 蔵・町家

結城市には歴史的建造物の蔵や町家が数多く存在し、歴史的な街並みを今も色濃く残しています。この章では、結城市を代表する見世蔵を中心に市内で見つけられる様々な建造物などについてご紹介していますので、気になる建造物があれば、近くを通って実物の外観を楽しんで下さい。

## ■ 蔵造りについて

結城を代表する建築物として「見世蔵」などの蔵造りが挙げられます。蔵造りとは、外壁を土塗り漆喰仕上げで厚く塗り籠めた木造防火建築のことで、わが国では古代から建築され続けた伝統的な工法です。結城においては、明治初期から大正期にかけてこれらの蔵造りの建物が数多く建築されました。現在も紺問屋や老舗の商店などで利用されており、当時の面影が色濃く残っています。

蔵はマップ上のこのマーク ▶

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  <p><b>結城酒造</b><br/>[MAP C-I]<br/>築年：江戸末期<br/>形式：切妻造ほか</p>          |  <p><b>奥順見世蔵</b><br/>[MAP G-II]<br/>築年：明治19年<br/>形式：2階建・切妻平入</p>      |  <p><b>秋葉椀味噌醸造見世蔵</b><br/>[MAP H-I]<br/>築年：大正13年<br/>形式：2階建・寄棟妻入</p> |  <p><b>小西見世蔵</b><br/>[MAP H-I]<br/>築年：明治初期<br/>形式：2階建・切妻平入</p>    |
|  <p><b>鈴木紡績見世蔵</b><br/>[MAP G-I]<br/>築年：明治39年<br/>形式：平屋建・寄棟平入</p>   |  <p><b>中澤商店見世蔵</b><br/>[MAP F-I]<br/>築年：明治末期<br/>形式：2階建・切妻平入</p>      |  <p><b>旧黒川米穀店店舗</b><br/>[MAP G-III]<br/>築年：明治45年<br/>形式：2階建・切妻平入</p> |  <p><b>結真袖見世蔵</b><br/>[MAP G-I]<br/>築年：明治40年頃<br/>形式：2階建・切妻平入</p> |
|  <p><b>赤荻本店見世蔵</b><br/>[MAP G-I]<br/>築年：明治20年頃<br/>形式：2階建・寄棟平入</p> |  <p><b>キヌヤ薬舗店舗</b><br/>[MAP G-III]<br/>築年：明治20年頃<br/>形式：2階建・切妻平入</p> |  <p><b>小倉商店店舗</b><br/>[MAP G-I]<br/>築年：明治4年<br/>形式：2階建・切妻平入</p>     |  <p><b>武勇</b><br/>[MAP C-II]<br/>築年：江戸末期<br/>形式：2階建・寄棟妻入</p>     |

 国の登録有形文化財に登録された建造物です。
  店先までの見学が可能です。結城酒造、武勇は要予約。

## ■ 登録文化財とは？

国の文化財登録制度は、緩やかな規制により建造物を活用しながら保存を図るために施行された制度で、これによって登録された建造物が登録有形文化財です。登録文化財には、築後50年を経過している建造物で、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」、「造形の規範となっているもの」、「再現することが容易でないもの」といった基準を満たす建造物が対象となります。市内にある登録文化財には、右の写真のようなプレートが設置してあります。





# 蔵の各部の名称を知る。



写真は結真純見世蔵

# まだまだ沢山 結城の見世蔵。



## 見世蔵等の店先見学の注意点

見世蔵等の店先をご見学の際は、以下の点に注意していただきますよう、よろしくお願い致します。

- ① 見学に際しては、必ず一声かけてから見学してください。
- ② 店先マークの付いていない蔵については、外観のみの見学となりますので、蔵内及び敷地内のご見学はご遠慮ください。



## 蔵以外の建物も見所

結城の街なかには、蔵以外にも趣のある建物や洋風なもの、一風変わった面白いものなど様々に点在していますので、それらを見つけて歩くのも楽しいまち歩きのポイントです。





# 結城の歴史を知る寺社。



# 寺社

**弘経寺(くぎょうじ)**  
 [MAP B-1]  
 開基は檀秀存把、檀越は結城18代秀康です。文禄4年(1595)秀康の長女松姫の菩提を弔うために創建された寺院で創建以来一度も焼失していません。



**安穩寺(あんのんじ)**

[MAP B-II]  
 天平宝字年中(757~765)に、下野薬師寺の祚蓮律師に開基された律宗の寺院です。室町時代初期の応安4年(1371)には禅宗に改宗し、中興開山しました。



**称名寺(しょうみょうじ)**

[MAP C-II]  
 開基は真仏、檀越は結城家初代朝光です。建保4年(1216)新居精舎を改築、嘉禄元年(1225)新居精舎を西之宮に移し、さらに元禄年間(1688~1704)に現在地に移築されました。



**妙国寺(みょうこくじ)**

[MAP B-II]  
 開基は妙国院日宣で、創建は貞和元年(1345)です。室町時代初期の創建で、早見晋我の墓と与謝蕪村が晋我の死を悼んで詠んだ「北寿老をいたむ」の境内碑があります。



**光福寺(こうふくじ)**

[MAP B-II]  
 室町時代末期の弘治4年(1558)、当時の佑慶が東寺の亮恵から印信を受けた後中興しました。当寺への移転は康暦年中(1379~1381)と慶長3年(1598)の二説があります。



**金福寺(こんぶくじ)**

[MAP B-II]  
 時宗二代遊行上人他阿真教により創建されました。宝永5年(1708)の結城町明細帳之控によれば、西の宮金福寺に鐘があり時を告げる、とあります。



**大輪寺(だいらんじ)**

[MAP D-III]  
 寺伝によると、結城家初代朝光が常陸国河内郡田河原に在った大輪坊の僧・元観僧都を招き安貞元年(1227)坊舎を移築し、大輪寺と改め結城家代々の祈願所となりました。



**孝顕寺(こうけんじ)**

[MAP C-I]  
 開山は独放曇聚禅師、開基は結城家15代政朝です。永正12年(1515)に玉岡の地に創建され、永正寺といわれたが、慶長4年(1599)現在地に18代秀康によって再建され現寺号となりました。



**常光寺(じょうこうじ)**

[MAP D-II]  
 永仁2年(1297)他阿がこの地を遊行した折に創建され慶長3年(1598)に現在地に移築されました。門前にある阿弥陀如来像は市民から「金仏さん」の愛称で親しまれています。

蔵同様、「寺社」も結城市の見所の一つです。結城には古くより結城の歴史を見守ってきたお寺や神社が数多く存在します。この章では、街なかに点在するお寺を中心に紹介していますので、お好みのものをめぐりながら、結城市の歴史を感じて下さい。また、鬼瓦や境内の植栽など、寺社毎にそれぞれ個性があるので、その点も注目してみるとより楽しめるはずです。右の写真は常光寺の門前にある阿弥陀如来像。



お寺はマップ上のこのマーク ▶

## 結城百選を知る

- 市民から候補地を募集し、以下の3点を目的に選定されています。
- ① 結城市の観光振興策の一環として、市内の名所・旧跡等で優れた景観・風情を有する場所を「結城百選」として選定し、郷土の良さを再認識し、郷土愛を育むとともに、これを後世に伝えるものとする。
  - ② 選定した「結城百選」については、市・内外にPRするとともに、新たな観光資源(新名所)として活用することを目的とする。
  - ③ 選定対象とする名所は、神社仏閣、史跡・文化財、自然景観・都市景観や、生活空間とする。

結城百選はマップ上のこのマーク ▶





# 寺社のここに注目。

## 鬼瓦

厄除けと装飾を目的とした役瓦の一つで、和式建築物の棟の両端などに設置される瓦の総称です。



## 彫刻

寺社では、柱や屋根などに様々な複雑な彫刻が施されています。ちょっと注目して見てみてください。



## 狛犬

神社入口の両脇に置かれた犬に似た想像上の怪獣の像。右側のもので左側のものと口元の違いに注目です。



## 庭園

境内の庭園も、寺社毎の個性があり、面白い形状に整えられた木々も見所の一つです。



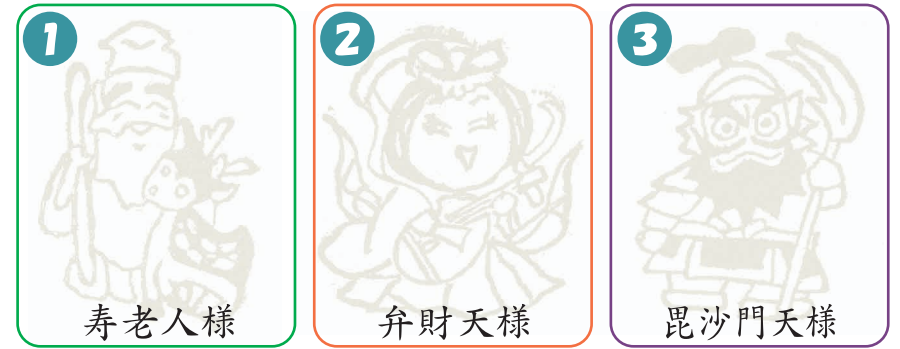
## その他

上記以外にも、境内をいろいろと見渡してみると様々なモノを見つけることができます。

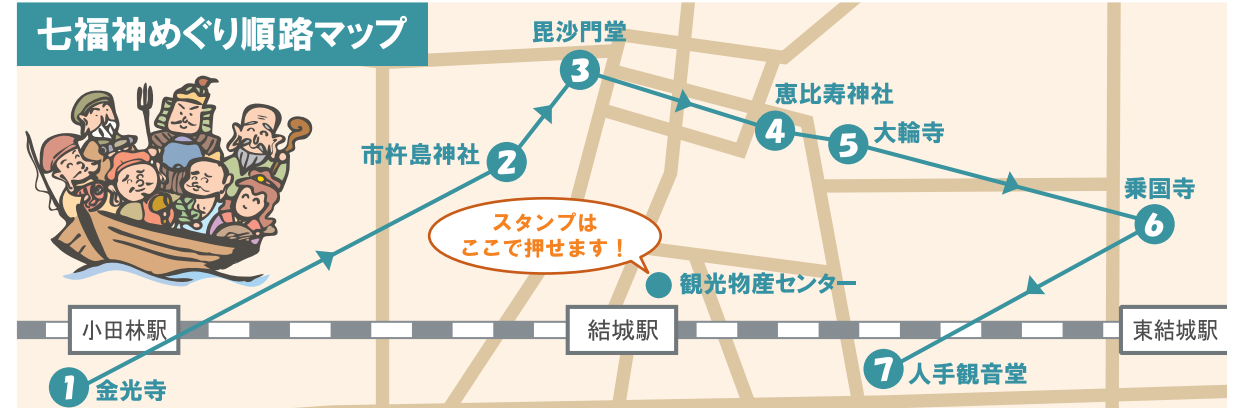


# 結城七福神めぐり。

健康、長寿、出世、商売繁盛などをつかさどる「大黒天」を始めとする七福神は、室町時代末頃に成立し、江戸時代になってその信仰が盛んになったと言われています。観光物産センターでは、スタンプを用意していますので、記念にどうぞ！



## 七福神めぐり順路マップ



## 参道を歩く際の注意点

参道とは寺社を参拝するための道路で、神社の場合は鳥居から本殿まで、寺院は山門から本堂までの道を表します。なお、参道の中央は「正中」といわれ、神さまの通り道とされているので、そこはなるべく歩かないように注意しましょう。

弘経寺の参道



安穏寺の参道



## 結城の歴史を知る

源頼朝が鎌倉幕府を開く頃、結城家初代朝光は源頼朝との縁から結城地方を与えられ、以後約400年にわたって代々この地方を治めることとなります。幾多の合戦を乗り越え、16代政勝以降、結城家は産業の保護と特産品の育成を図り勢力の維持増強に努めました。慶長6年（1601）、18代秀康

（徳川家康の次男）の越前転封後、入封したのは徳川家と縁の深い水野家でした。江戸時代、結城家には、結城水野家と山川水野家に治められた歴史があり、両水野家は、結城家の元家臣の結城十人衆といわれる町方（商人）とともに、まちの発展に尽力しました。

朝光の肖像画

